

みんなで考えよう!

ポストコロナ
一中校区小中一貫校計画

「こんな学校でいいの?!」



新型コロナウイルスのパンデミックのもと、世界でも日本でも政治と社会のあり方が問われ、新たな社会の姿が模索されています。国会では、コロナ後の学校のあり方として改めて少人数学級が注目され、「安全安心な教育環境を! 20人学級を子ども達にプレゼントしよう」という議論がはじまっています。



狭い敷地に1000人越え
3密!ぎゅうぎゅう詰め!

一中校区の施設一体型小中一貫校基本方針・基本計画では、長宝寺小・交野小・一中の児童生徒が集まるため、現交野小の倍近い1100人以上になります。

「コロナ後の学校はどんなべきか?」
施設一体型小中一貫校の計画は見直しを

《現状との比較》

	R2年度	R7年度
	交野小学校	小中一貫校
敷地面積	21,243㎡	23,249㎡
児童数	573人	1,111人

狭い敷地に詰め込むことは明らかであり、まさにマンモス・過密学校になることは避けられませんが、コロナ後の学校づくりは安全確保のため、密を避け余裕

を持たせた計画が必要。あえて今、過密な学校をつくることは子ども達の安全に背を向ける無責任な計画だと言わざるを得ません。コロナ前作成の計画は見直すべきと考えます。



日本共産党は、こう考えます。

コロナ後の学校のあり方として、いま考えなければいけないことは、
①ひとクラスの児童数を減らし、ソーシャルディスタンスがとれるように、さらなる少人数学級への手だてを打つこと。
②子どもの安全な活動場所確保のため、小学校と中学校は分離して整備すること。が必要です。

コロナのような感染症などの緊急事態においても、安全安心な教育環境を確保し、子ども達の学びを保障するためには、危機管理の上でもリスク分散をさせることが重要であり、コロナを経験している今、あえて過密な大規模校の建設に、62億円以上も使うのはナンセンスです!

※現在の概算事業費は、61億6100万円ですが、ここには長宝寺小を一時使用する仮設校舎・校舎改修費用などは含まれていません。

ゆうゆうバス廃止で
「外出できない」の声がたくさん...

ICカード補助事業
手続き煩雑、たった2千円

4月末にゆうゆうバスが廃止され、「行きたいところに行けなくなった」の声が多数寄せられています。

寺・神宮寺のワンボックスカー、誰でも乗れるようにして! 市は5月から、ゆうゆうバスの代替に公共交通不便地区移動支援事業として、河内磐船駅と寺・神宮寺を往復するワンボックスカーを運行しています。しかし、寺・神宮寺の住

民か、通勤・通所等の方しか乗れないため、隣接する東倉治や森南の方からは「なぜ私たちは乗れないのか」との声があがっています。日本共産党は6月議会で、寺・神宮寺の住民に限定せず、希望すれば誰でも乗れるように改善を強く求めました。市は「ご意見はしっかりと受け止め、今後、施策の効果検証に努めていく」と答弁しました。

とされる(交通系ICカード運賃補助)は、手続きが分かりにくく、補助額も年2千円と低額なため、ゆうゆうバスに代わる高齢者・障がい者の外出支援策とはほど遠い状況です。

日本共産党は、市交通計画を策定し、誰もが移動できる権利(交通権)を守られるまちづくりを求めたいです。



交野市役所庁舎の移転建て替えについて

市は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため7月・8月の「市役所の移転建て替えについての市民説明会」とパブリックコメントを一旦中止し、コロナ後の庁舎のあり方をふくめて、改めて提案するとしています。コロナ禍をふまえた計画に見直すことは、必要な視点です。

日本共産党は、今後の計画策定にあたり、①新庁舎建設に約56億円もかかる計画になっているが、コロナ後の社会変化や税収減などを予測し、必要以上の過大な大型事業にしないこと、②予定地のいきいきランドは駅から遠く、ゆうゆうバス廃止によって、来庁困難な市民が出ることへの市として責任ある解決策を示すこと、などを求めています。

日本共産党提案の意見書案 議決結果 (6月議会) 賛否の状況 (○賛成 ×反対)

案件名	共産党			公明党			維新の会			市民		会派無所属			
	皿海	藤田	北尾	三浦	友井	中谷	臼口	岡田	伊崎	野口	久保田	松村	山本	松本	片岡
新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、カジノ(IR)誘致を含めた大型開発の見直しを求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○		○	×	×	×
黒川弘務東京前検事長の厳正な処分および、定年延長の閣議決定の撤回を求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○		○	×	×	×
公立・公的病院の「再編・統廃合」押しつけをやめ、地域医療の拡充を求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○		○	×	×	×

※久保田議員は議長のためは採決には不参加